

鈴木座長と傍聴者フロアーとの質疑応答

Q1 市長は釜ヶ崎、あいりん地域をどのようにしたいのか？かつて「更地にする」と言ったが・・・

⇒ 発言については確認しますが「更地にしない」、「この地域の意向に沿って決める！」と明言しました。

Q2 「センター移転ありき」なのでは？ それは撤回すべきでは？

⇒ この検討会議やワークショップでは「移転」が前提ではないです。市長はそのような事は言ったが、あくまで暫定の話であり、縛られずに議論できます。「ここで出た意見を最優先にして方針をきめる」ということになっています。

Q3 萩小の子ども達が安全に安心して、小学校生活を送ってほしい！ 萩小は無くなり小中は移転するのか？

⇒ 平成27年度4月から今宮小中一貫校がスタートします。

Q4 労働センターは来年の冬に移転する？

⇒ それはないです。

Q5 子どもから大人まで楽しめる遊園地を作ってほしいです

⇒ 子どものことを考えるのも大切。プレーパークを作ろう！という意見が出ています。

Q6 社会医療センターはどうなる？（命を守る施設、工事で中断しないで！）入院、手術できなくなる？ ずっと使える、利用できるようにして！

⇒ 市長は、社会医療センターはこの地域から無くしませんと宣言しています。中身については意見を出していただいて、地域の声として市長にあげます。

Q7 「移転はしない」とのことだが、「建替え」は前提？

⇒ 議論の前提にはなっていません。

Q8 「有識者座談会報告書」では耐震機能は著しく低いと報告

⇒命を守るために耐震をまっさきにすべきでは？ 特区云々、切り離して最優先に考えるべき！

⇒ この建物をどうするか、3者(国、府、市)の話し合いの中でなかなか決まらなかった…結論を出せなかったことが問題です。だから決めるための会議をこの場で進めています。西成特区構想だから話を進めることができます。

Q9 来年春にはセンターをどうするか方針を出すという話だったと思うが、資料6の質問5の答えに「来年1月以降も1年以上の時間をかけ…」とあるが、どちらが本当か？

⇒ 大方針を出すのが来年の1月まで、その具体的な中身はその後議論を行っていきます。

耐震基準の明確化を！

- 耐震基準調査結果(最新)の具体的な資料を第1回目で要求している。次回添付を!
- 耐震調査の中味をきちんと(専門的数値)資料として出してほしい

子どもの教育、次世代のあり方

- 鈴木特別顧問の話を聞いて、「教育の視点」「子どもの視点」があまりにも弱く、がっかり。大阪市はこの30年で児童数は24万人から12万人に減少している。1/2の減少、つまり少子化である。しかし、萩之茶屋小学校の児童数の減少はもっとひどく、昭和59年度は297名、今は、48名に減少、1/6の減少である。少子化では済まされない問題である。「まちづくり」というなら、なぜそんなに減少したのかを考えるべきである。子どものいない町は滅びてしまう
- 将来ビジョン、次世代へ何を残すのか、そして、街がどう変わるかは次世代に考えさせましょう
- 来年の4月に小学校、中学校を統合する話は本当ですか？体育館、運動場、教室などはどうなるんですか？先生、生徒の配置はどうするんですか？また、登下校などの安全はどうするんですか？
- 子どもたちが安心できるものになっているのか。住民があちこちと分散し、新たな貧困を生まないか。野宿、ホームレスの方が増えないのか、不安が増えています
- 遊園地がほしい
- 西成区の子どものための遊ぶ公園を開放、その胸の内は？

高齢者対応の充実を！

- 安心の意味、孤立化の意味を考えましょう
- 安心して死ねる街へ、優しい相談業務をセンターにつくりましょう
- 高齢化は必然です。この人たちに優しい街にする計画を立てましょう

弱者への対応

- 野宿者達にホームレス対策は、今、どう思っているか？
- 結核患者さんは何人位おられて、どういう治療をしていますか
- 今朝、天下茶屋駅前、女性市議員が西成のイメージアップとして話していた。あいりん地区をどうにかすれば、安心して住めるとかいていたが、弱者の排除ではないか！地域外では、このあいりん地区を無くそうとしているのではないか！このあいりん地区には多くの人が息をつめながら生きていることを同じ人として”恥”と思っている議員が公然と言うのが差別に繋がり聴衆もそれに賛同するのが悲しい。しっかりしてくれ

あいりん総合センターのあり方

- センターを縮小すると言いますが、建替えた時にどの程度小さくなるのですか？
- 仮移転にせよ、本移転にせよ、医療、住宅、労働の3つが近くにあるということが必要だと思います
- センター工事について、4つの方法が説明されていましたが、まだ、「決まっていない」と言いながら、「現地建替」が方向性としてはあるのではないかと。だが、これは建設費が膨大となり現実的ではない。そのために、労働と医療、住宅を
- 分離する方向性があるのではないかと。不安
- あいりん総合センター（労働福祉センター、医療センター、職安）の機能が果たしている役割について関係者から聞きたい
- あいりん総合センター機能は分散するとどうなるのか、街の拠点はどこへ行くのか、住民は不安だと思います
- あいりんセンターについては、地域全体の利害を集約した施設に建替えるのが一番だと思う。その為には、寄り場や求人車を止めるスペース、また、職安、西成センター、医療センター、社会保険事務所、食堂や売店も必要、その他にも、テナント等も入れ、何か市民、労働者サービスになる様な新しい事業も構築すべきである。（住宅だけは、お年寄りが多い事と、早朝から騒がれている事もあるので別の場所で建替えればよいと思う）最後に、今までより規模を大きくする事が必然である。
- センター機能を具体的に提案してもらって、出来る事は施策として確認しましょう
- あいりん総合センターについて、1階や3階で寝ている人がいる。ハトのフンが散乱していて汚い。私は新しくセンターを建てた方が彼らのために良いと考えるのだ。食堂のいくつかは廃業し、2階にあったロッカーと理髪店も廃業し、閉鎖されている。廃屋の様な状態より、建替えるべきだと考える
- 若者の労働保障は、今回の改善に含まれているのか。職安機能は充実するのか。ハローワークとの連携等はあるのか。独立しないように連携の体制が必要
- 現在のあいりんセンターは、野宿生活者、生活保護で暮らしている人々の居場所、休む場所になっている。そのような場所が無くならないような配慮をしてもらいたい。あいりんセンターだけでなく、シェルターの24時間開放などの工夫も必要だと思う
- センターの移転ですが、費用の面をもう少し具体的に教えて下さい。また、期日の面に関して、具体的な数字、解体するにしても、もう少し具体的な期日、労働者の改善面にしても案を詳しく説明して欲しいです
- 携帯の普及とそれに続くインターネットの普及が、就労経路に変化を与えた。「どろくさい」寄り場に行くことを好まない、携帯を所持する若者が日雇い労働市場に参入した。彼らは「一生こんな仕事をしない」と信じているし、労基法などの知識も持たないので、何の権利も主張しない。寄り場の労働者は、寄り場機能の1つである情報交換で労働者の権利について知っており、しっかり主張する。雇用する側からすれば寄り場を介さない労働者の方が使いやすい。偽装請負など、労働者性を奪われた労働者が沢山いる。あいりん総合センターは、これまでの寄り場を維持、継続しながら、不安定就労層が集まり、情報交換し、相談出来る場所にしていくべきである
- 資料5「あいりん総合センター整備手法の比較」を作成した部署は？①<②<③<④で高評価になっている。④全部移転に誘導する文章でしかない。撤回すべき
- 子どもの遊び場である公園に移転するのはおかしくないか。鍵のかけている公園が沢山あるではないか。四角公園は子どもが使えない

労働環境の整備を！

- 街づくりの中心は、労働です。多くの非正規や失業者が安心して相談出来る街へ
- 駅前一等地の活用、フェスグの様な施設の失敗を見習う。商業施設は、なんば、うめだ、天王寺もあるので不要では？
日雇いの建設業だけでなく、様々な職種の就労支援等が出来る、労働の施設を作るのはどうか？
- 日雇い健保、日雇労働を禁止して、事業主との労働契約を結ぶようにして欲しい
- 医療センター、住宅、労働センターの問題という議論になっているが、あいりん職安はどうするのか？
- 労働センターは、今では不要で、職安を設置して労基法を守らせるように指導体制を強化してください
- 路上求人車をエンター内で求人出来るようにする為には、センターだけでは困難。職安、警察等の協力も必要になる。地域の交通安全の為にも、この場に職安、警察等も参加してもらい、考えてもらうべきではないか

社会医療センターのあり方

- 医療センターは、相談室を地域連携室に変更し、地域に根ざして活動するべきである
- 医療センターの借用書の制度を無くしてほしい
- 結核の治療について医師、専門家がどのような方針を示しているか明らかにして下さい
- 医療センターに関わっている人たち、スタッフや患者の人たちにリサーチはされているのですか？
- 医療センターに結核センターを置くべきである
- 医療センターに心療内科の機能を充実してほしい。訪問診療を必要としている患者がいる
- 医療センターではなく公立病院を地域の中心に設置して、一般との区別をしなくて欲しい
- Aグループ以外は、医療センターの議論があまりされていない気がします！
- 大阪社会医療センターについて、付属歯科診療所はすでに廃止されている。医療センターにない診療科目が多い。診療科目を増やして総合病院にすべきではないか
- 医療センターは残してほしい。命のことだから
- 医療センター、外来、内科、外科、整形外科、皮膚科は必要である
- 医療センターの機能。現在の患者数+拡大も含め拡大されることが見込まれた議論となっていますか。縮小していくように見えますが…どうでしょうか

市営住宅のあり方

- 住宅の高齢化の問題は移転でクリアできるのか。建替え中の不安解消はできるのか
- 地域内で用地を確保して移転する事は賛成ですが、跡地をスーパーや大企業に売り渡さないで公園として下さい
- 住宅に住まわれている人たちの意見は聞かれていますか？聞かれているとすればどのような意見が出ていますか？